

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会

DO YOU KNOW? にいがた



February 2024
Vol.431

2

よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指す



すべての企業と
すべての人が
自分らしく輝く
社会をつくる

【株式会社アドハウスパブリック
プランナー／ディレクター】
吉野 竜也 氏 新潟支部セントラル地区

ブランディングを通して、
元気な人・事業・
会社づくりを支援したい

吉野 竜也さん

株式会社アドハウスパブリック
プランナー／ディレクター

PROFILE

会社について

当社は1974年に設立、来年50周年を迎えるブランディング・デザイン会社で、代表表の関本は、父・母に続く3代目となります。私は2000年に入社し24年目を迎えました。

アドハウスパブリックは、印刷の版下づくりを行っていた初代が独立して作ったデザイン会社が始まりで、長らく大手印刷会社や広告代理店の下請けでグラフィックデザインを行っていましたが、2012年に代表表の関本が社長就任し、下請け中心の仕事から、直接お客様の想いをくみ取り本質的な課題の解決に役立ちたいという代表の強い思いのもと、現在のブランディング事業主体の企業になりました。

社員一人ひとりが自分らしくやりがいを持って働き、ビジョンを共有した強い組織基盤をつくる「インナーブランディング」と、差別化を図ったオンリーワンの事業・商品・サービスをつくる「ブランド開発コンサルティング」、そしてそれらを魅力的なデザインで表現し世の中に伝える「アウトターブランディング」を組み合わせた当社独自のメソッドで、さまざまな企業のブランド構築を行っています。

経歴と入社の経緯

小さい頃から絵や漫画を描くことが好きで、単純に「好き」を仕事にしようとしてデザイン専門学校を卒業。初めて就職した会社には10年間在籍し様々な経験を積みましたが、バブル崩壊に伴うリストラにより一度解散へ。その後、私と私が選んだ数名で制作部隊の立て直しを命じられ1年間奮闘しましたが先が見えずやむなく退職することに。当時父が経営していた工務店も倒産するなどして、社会の厳しさ

- ① これまでに手掛けたデザイン実績の一部
- ② コミュニケーションが図りやすいワンフロアの制作室
- ③ 我々は誰に何を提供しているのか?
(今年度キックオフでのワークショップ)



2



3



1

を痛感しました。
退職間もなく取引先であった印刷会社の方からの紹介でアドハウスパブリックに入社し、紹介していただいた印刷会社にディレクターとして出向。それを機にデザイナーからディレクターへ転身することになりました。出向から戻ってからは、大手の通信会社・保険会社・総合商社・シネコン運営会社・住宅設備メーカーなど、様々な業界の広告や販促物の企画制作に携わって今に至ります。

同友会について

社員である私は企業や事業のブランディングを支援している会社に所属しています。私自身もできるだけ経営者に近いところで、経営者の思いに近づきたいと願っていましたので、多様な経営者から、仕事や経営における楽しさも苦しさも実体験として経験してきた生の声を聴いて学ぶことが出来る場で、経営者の様々な考えに触れて、それを尊重し、企業運営に関する考え方を学ぶことで、私自身がきちんと企業課題をとらえるための器を広げられています。また、経営者であろうがなかろうが一人の人間として自分は何をしたいのか、何を大切にしたいのかという信念と、自分の人生を自分で動かし、社会に貢献することの大切さを学ばせていただいています。

会社のこれから

企業がいかんにして差別化を図って生き残っていくかがますます重要になってきた今、そこで働く一人ひとりが自分らしくイキイキと活躍できるかが大切になっていると思います。アドハウスパブリックは「すべての企業とすべての

人が、自分らしく輝く社会をつくる」というビジョンを掲げ、そこに共感するメンバーとともに、お客様の思いや考えを汲み取りながら、本質的な課題解決のお役に立てるよう、全社一丸で尽力しているところです。
一人ひとりが自分の能力を存分に発揮して、お互いの成長を高めあうことを楽しめる会社を目指しながら、1社でも2社でもそうした会社を増やしていきたい。自社においても、あまり年寄りが出しゃばらず(笑)若いメンバーの個性や意思を尊重しながら活躍の場を作ることが大切になっていきたいと思います。

吉野さんの
会社は
コチラ!



株式会社アドハウスパブリック

プランナー/ディレクター：吉野 竜也 氏(新潟支部セントラル地区)
事業内容：インナーブランディング・事業開発・デザイン
住所：新潟市中央区女池神明3-4-9
TEL：025-250-7578
創業：1974年 従業員数：26名

委員会・部会活動報告

政策委員会

2024年最初の 政策委員会は新年会!



今後の政策委員会の方向性を話し合いながら有意義な時間を過ごせました。この写真の中に懐かしいあの人も映っていますので、探してみてください! 政策委員会の活動は多岐にわたりますので捉えどころが難しい所があります。そもそも経営環境をよくしていくということは社会課題をよくしていくことに直結してきますので成果として見えにくいところがあります。一見遠回りの地域課題に目を向け社会全体をよくして行き、自社の経営課題をも改善して行く事を時間はかかりませんが取り組んで行きたいと思っています。

日々の経営課題の中には、どうしても自力で解決できない課題もあります。こういった一人ではどうにもできない問題に対して、力を合わせ変えていくのが政策委員会です。委員会の一連の活動はきつと経営課題に欠かすことのできない時流を読む洞察力を養います。「よい経営環境」をつくる最前線とも言える政策委員会に参加し、力を貸してください。

(二社)新潟県中小企業家同友会
事務局 鈴木健太記

経営労働委員会

それぞれの経験・ 想いを語り合い、 実践につなげる

経営労働委員会では、昨年12月、経営指針成文化と実践の会を受講する意味やサポーターとして参加し続ける意義を深掘りするための対談を行い、その様子を動画撮影しました。関原代表理事、諸橋経営労働委員長、第7期経営指針成文化と実践の会4グループ座長を務めている本多貴之さんを迎え、山貝副委員長のファシリテートでテーマごとに業界や世代を超える約2時間の熱い対談となり、次の意見が出ました。

テーマ① 不易流行 過去の自身の経営を振り返る

「古き良き経営とは何か」という問いから始まり、過去の自身の経営について「利益を出すことが目的だった。業界的に個人事業的で経営」という意識は薄かった。自分自身が頑張ればなんとかなると思っていた。お客様の評価しか見ていなかった。」など経済的要因(科学性)を求めていたと感じました。

テーマ② 人を生かす経営、よい経営とは? 経営指針成文化と実践の会の学びの中で「会社の役割は人づくり。自分がプレーヤーから離れると覚悟を決めた時点で社員が人に見えて来た。指針の会受講後は

自分や企業の理想の姿を描けるようになった。いつ社員が自分を超えて行ってくれるのか楽しみ」など人づくり、社員(人間性)に焦点があたってきました。

テーマ③ なんの為に経営しているのか? これからの経営とは?

「主体性のある社員育成。社員を幸せにする会社。一生働ける人をつくる。変化の時代に経営者は先回りしなければならぬ。地域課題を解決していく。地域からあてにされる企業へ。」などこれからの《社会性》を意識した意見が多くありました。

みなさん、経営指針成文化と実践の会(前経営指針を創る会)を受講されており、それぞれが受講中に投げかけられた言葉をきっかけに気づきを得、成長されたと話していました。3年前長年にわたり新潟同友会の経営指針成文化運動に熱心に関わられていた品田保男さんが、そして、昨年11月に牧野章さんが亡くなりました。もとお話しておけば良かった。もっと成長しなければ…。そんな想いで動画を撮影しました。我々ができるとは何か? よい経営とは何か? 人を生かす経営とは? この大変革の揺れ動く時代の中、ブレないための自分自身の個人理念と経営理念、そして明確な理想の姿を見つけ経営を実践するため、共に学びたい方はぜひ経営指針成文化と実践の会にご受講ください。

経営労働委員会 副委員長 新井田慎記

新潟県中小企業家同友会には5つの委員会・4つの部会があり、希望する会員は委員会・部会にいくつでも入ることが出来ます。合計9つの委員会部会は経営の課題ごとに分かれており、それぞれのテーマを専門的に学び、問題を解決していくところです。現場に直結した専門分野を深く学び、経営課題を解決するために共に学ぶ活動を行っています。



青年部会

繋がりを強化

青年部会チームコムレイドは「繋がりの強化」を大テーマとし、楽しく＆学びがある↓参加したくなる青年部会を築き上げることを目標とし活動しています。

そんなチームコムレイドは12/15(金)『知学楽』企業訪問バスツアーを開催しました！「社業が忙しく同友会活動になかなか参加できない、しかし自社の事業内容を知ってもらいたいし、会員と交流したい」という声が青年部会内であがっていました。それならこちらから会社を訪問して見学＆交流しよう！どうせならバスで行って移動時間も楽しく学びのある時間にしよう！と考えたのがきっかけです。

当日はフジアグリファーム(株)真田さん、(株)塚田牛乳塚田さんの合計2社を訪問しました。真田さんからは自身の経験から天候の変動に強い農業を作りたいという思い、そしてグループ企業の強みを活かした農福連携の取り組みなどをお聞きしました。そして訪問メンバーに飲食店経営の方もおり、早速ビジネスの話も生まれていました。塚田さんからは工場見学の後、酪農牛乳業界の課題や今後の塚田牛乳の取り組みについて聞かせていただきました。そしてバスの車内では3分間スピーチ大会を行いました。あつという間の半日でした。ご参加いただいた皆様ありがとうございました！

青年部会チームコムレイドサプリーダー
(株)グリーン東上野 喜寛 記

食部会

食部会では現在2つの行事を企画しております

① スーパーマーケットトレードショーへの見学会

2月14、16日に開催のスーパーマーケットトレードショー2024に参加し、その日の学びや気付きを共有する懇親会を開催します。スーパーマーケット？と感じる方もいらっしゃると思いますが、出店者数は2100社、3700小間以上の食品流通業界の最先端の集まる国内最大級の食の商談展示会です。小売業だけでなく、飲食店や生産者など食に関わる全ての方々、今後食品に関わる事業を考えている方々にとってはとても刺激ある内容になります。1人ではなかなか参加する機会がなくても、同友会メンバーと共に学びあいながら見学しませんか？

② 食部会3月例会「わたしたち企業家の地域課題」の開催

飲食店、食品卸、農林水産業、食に関わるすべての企業の目指すゴールの一つは「自社の商品を食べて笑顔になってもらう」ことだと思います。今回、新潟県立大学より、人間生活学部 子ども学科の小池由佳教授をお招きし、子どもたちを取り巻く「食事情の深刻さ」という現実を知り、企業として、経営者として何ができるのかを考えます。これは、「食に関わる企業の課題」ではなく、「すべての企業経営者」にとっての課題です。子ども食堂やフードバンク等、関わり方支援の仕方は様々ですが、現実を知り、自社に何ができるかを考える機会したいと思います。

ぜひ、業種問わず、多くの方にご参加いただければと思います。e.doyu、案内からご参加お申し込みください。

飲食店、食品卸、農林水産業、食に関

事務局長 高橋拓夢 記

(二社)新潟県中小企業家同友会

SMTS 2024
SUPERMARKET TRADE SHOW
スーパーマーケット・トレードショー

主催 一般社団法人全国スーパーマーケット協会

第19回 **こだわり食品フェア2024**

主催 一般財団法人食品産業センター

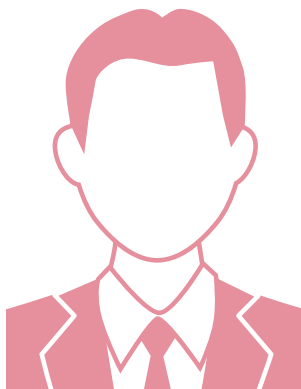
デリカテッセン・
トレードショー2024

主催 一般社団法人全国スーパーマーケット協会

《新入会員紹介》

入会おめでとうございます。新しく入会された会員を紹介します。

①役職 ②業務内容 ③支部 ④入会日 ⑤紹介者



えんどう たくみ
遠藤 卓実

(同) P&U

- ①代表社員
- ②トラックアルミ板ボディ製造
- ③新潟支部イースト地区
- ④2023年9月20日 入会
- ⑤長井裕三

新潟市北区にて、自動車車体製造業を営んでいます。短大卒業後、MotoGP世界選手権(ロードレース)に参戦し、2009年に渡独しドイツ国際選手権へ。2013年に現地で起業後、2022年に事業を譲渡し新潟に戻り、家業を承継しました。2023年に法人化を行い、本年は新規事業の開業を予定しています。生まれ故郷の新潟で地域活性化に一役買いたいと思います。



ひぐち まさみ
樋口 督水

(株) NSGソーシャルサポート

- ①代表取締役
- ②障がい福祉サービスの提供およびアウトソーシング請負事業
- ③新潟支部セントラル地区
- ④2023年10月2日 入会
- ⑤小池茂範

新潟市中央区で障害者雇用や就労支援の事業所をしております、株式会社NSGソーシャルサポート樋口督水と申します。以前より同友会の熱くすばらしい社長の皆さんにお世話になっていたところ、ソーシャルビジネス部会の立ち上げ会セミナーに参加させていただき魅力を感じ入会しました。色々教えてください!よろしくお願致します。



いわやま だいすけ
岩山 大将

(株) Certo

- ①経理部長
- ②障害福祉事業
- ③上越支部
- ④2023年11月1日 入会
- ⑤遠藤隆宏

上越支部に入会しました株式会社Certoの岩山と申します。弊社は障害福祉事業を行っております。様々な経営者の方々との交流を通して自己成長に繋がりたいと思っております。よろしくお願いたします。



あいだ すくる
相田 優

(株) Certo

- ①総務部長
- ②障害福祉事業
- ③上越支部
- ④2023年11月1日 入会
- ⑤遠藤隆宏

初めまして。この度上越支部に入会させていただきました株式会社Certoの相田と申します。上越市で「児童発達支援事業」「放課後等デイサービス事業」の運営に携わっております。本会にて諸先輩方から多くのことを学ばせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



いだ しゅんすけ
井田 俊介

(株) I.D. Additional's

- ①代表取締役
- ②オーダースーツ販売
- ③新潟支部サウス地区
- ④2023年11月2日 入会
- ⑤長尾恵

新潟支部サウス地区に入会しました、株式会社I.D. Additional'sの井田俊介と申します。新潟市江南区の中島にてオーダースーツ屋を営んでおります。まだ設立したての新しい会社でわからないことだらけですので例会等なるべく積極的に参加して学んでいけたらと思っております。よろしくお願いたします。



おだけ やすひろ
小竹 康裕

MAZAQ(株)

- ①代表取締役
- ②障害者就労継続支援A型B型事業所
- ③柏崎支部
- ④2023年12月18日 入会
- ⑤小林俊介

柏崎で障がい者就労施設を運営していますマザック株式会社の小竹康裕です。異業種や先輩の経営者の方と交流と勉強ができればと思います。お会いした際はよろしくお願いたします。

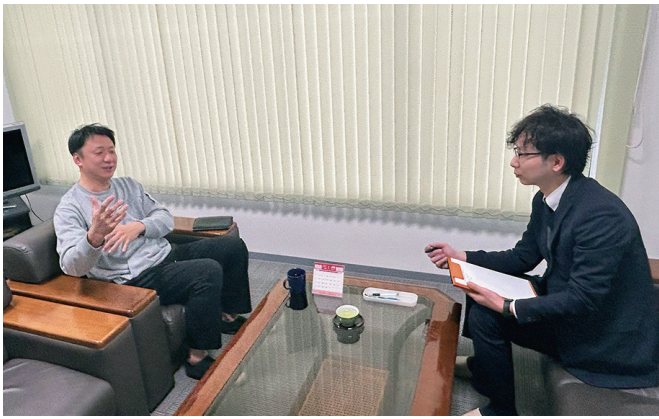
私とお話しませんか？

会員交流の館

会員が『今一番会いたい、話を聞きたい会員』を訪問するコーナー。

今月は品田敦司さん(株)シナゼン 新潟支部)が
新井進二さん(株)西武フーズ 新潟支部)へ
訪問の様子をお届けします。

vol.8



新井さん(左)と品田さん(右)

品田：最近新井さんとお話しした機会に、なんとなく「雰囲気が変わったな」と思っていて、その究明にお話を伺いに来ました(笑)。
新井：そうですね？(笑)。あまり自覚はありませんが、昨年の3月に経営指針成文化と実践の会の受講を終えてから、会社に対して考えがまとまり、色々と取り組んでいるので、そういった面での印象かもしれません。
品田：グループ会社の副社長の木村由美さん(株)西武商会 代表取締役副社長)の紹介で入



会をされて、指針の受講となったわけですが、受講中、受講後に変化はありましたか？

新井：西武フーズは(株)西武商会グループの飲食部門という立ち位置で、「コリアンダイニングけなり」を新潟駅前店とイオン新潟南店の営業を行っています。実は、グループとしての経営理念はあっても、西武フーズとして理念が定まっていなかったんです。自分でもしっかり定めたいと思っただけで、形にできておらず、そういった面です。近道になりました。指針受講時に、理念について義理の母(木村さん)に相談すると「あなたは何がしたいの？」と話してくれました。私が作っていた理念がなく、西武商会寄りの理念になっていたことに気づいて、西武フーズの経営者としての考えを引き出してくれました。おかげで今は理念が軸になって、自身で迷ってしまったり、ときや悩んだ時に立ち返って考えることができるようになりました。

品田：その気持ちはすごくわかります。私も指針を成文化した後、自分の考え方だけでなく、軸が生まれたことで、ブレずに進めていくことができるようになりました。同友会の例会はどうに活用していますか？

新井：かなりプレイングマネージャーとなっているので、正直あまり例会には参加できていません。それでも、指針関係等自分のアンテナに

引っかけた「学びたい！」というものにはできるだけ参加できるようにしています。一番影響があったのは数年前に参加した食部会の例会で群馬同友会のグリーンリーフ(株)の浦澤さんの報告でした。その中で取り組んでいる評価制度が西武フーズに足りていなかったものだと思いました。私は西武フーズには家業としての側面があると考えています。グループとして母体のある企業体質で、自社は社員が8人、パートアルバイトが多数という状況ですが、一人ひとりに対して感覚的な評価をしていまして、か、お互いに話し合う場を設けていまして、話を聞いても、相手にフィードバックをしていないので、会社としての想いを伝えきれなかった。そこで、評価制度をしっかりと成文化した理念を企業全体で落とし込む土台を作らないとと考えています。今はまだ、正直うまくいっているとは言えませんが、少しずつ、企業として成長していきたいです。

対談者

(株)シナゼン
代表取締役 品田敦司
(新潟支部セントラル地区)

訪問企業：(株)西武フーズ
代表取締役：新井 進二氏(新潟支部セントラル地区)
住所：新潟市東区竹尾卸新町752番9
創業：1970年 事業内容：飲食業

例会や行事の報告など、情報共有の場としてフリーテーマで同友会の情報を発信します。

新潟支部12月例会



右から鹿島さん、島田さん、山田さん

新潟支部12月例会が、12月20日(水)に新潟ジョイアミニアにて開催されました。「もがけー見いだせー信じる、自分ー経営指針成文化を通じ、自分をさらけ出し、掴んだ会社経営への想いー」をタイトルに、鹿島隆一さんの想いの溢れた報告となりました。
報告者：座長・室長の感想レポートを紹介します

報告者
株はるかぜツアー
代表取締役 鹿島隆一氏
(新潟支部ウエスト地区)

株式会社はるかぜツアーの鹿島です。12月の新潟支部例会で初めての単独報告をする機会をいただき、感謝しています。報告づくりの中で、自身の覚悟について深く考えました。私にとつての覚悟は、自分を信じるのだと気づきました。これは報告者としての経験がなければ気づくことができなかったと思います。同友会でよく聞く「役得」という言葉の意味を初めて理解することができました。今回、壇上に立てたのは座長の島田さんと

室長の山田さんのおかげです。ありがとうございました。

座長
株フォークス
代表取締役 島田多一郎氏
(新潟支部ウエスト地区)

12月例会では「経営指針の重要性と効果」をテーマに株式会社はるかぜツアーの鹿島さんに報告いただきました。経営指針を通して、「経営に関する想いを自分で言語化する意義」やサポートの方たちとの真剣な関わり合いを通じ、「自分自身のありかたを見つめる意義」などをお話いただきました。

支部望年会も同時開催したため、多くのゲストにもご参加いただき、同じような境遇のゲストにも大きな影響を与えることが出来たと想います。座長のまとめでお話したのは同友会の意義。状況経験が異なる経営者が集い、悩みや想いをさらけ出し、学び合つことを通じて人間的な成長に向けて切磋琢磨できる場所であることを改めてゲストの方たちにも発信させていただきました。

室長
アトリIPourToi
代表 山田育永氏
(新潟支部ウエスト地区)

地区長より例会の司会進行係?をとの話を受けました。入会間もない当時は内容を理解できていなかった私でしたが、機会が巡ってきた時、迷った時の「はい」を選択しました。

不慣れで要点が判らない私は、ウエスト地区幹事の皆様のお力添えをいただきながら、また、事務局のご指導を賜り「室長」という大役を終えることが出来ました。

座長の島田多一郎さん、報告者の鹿島隆一さんの素敵なチームで、たくさんの時間を過ごさせていただいた貴重な経験に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

DO YOU KNOW? にいがた

2024年2月1日号

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会 広報情報化委員会

住所：〒950-0901 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A

TEL：025-288-1225 FAX：025-288-1226

E-mail：info@niigatadoyu.jp

HP：https://www.niigatadoyu.jp/

頒価250円(年間3,000円・送料別) 会員の購読料は会費に含まれます。

編集後記

昨年度までの3年間の新潟支部長から今年度は広報情報化委員会メンバーとして活動しております。今年度を振り返ると立場が変わる事で見えてくる物や自分に届く声も変わる1年だったと思えました。委員会活動を通じて支部だけではなく様々な委員会・部会に関わる事も同友会運動の魅力の一つだと思えました。

すみれ建装株式会社 代表取締役
平川 幸男(新潟支部イースト地区) 記